

平成29年度 第1回釧路市地域公共交通活性化協議会 議事録要旨

日 時	平成29年6月7日（水）10:00～11:10
場 所	釧路市観光国際交流センター 3階研修室
出席委員	25名（うち代理出席1名） 欠席7名
事務局	3名
オブザーバー	2名（うち代理出席1名） 欠席1名

1. 開会

2. 新委員紹介

3. 議事

(1) 釧路市地域公共交通網形成計画の策定について

- ・事務局より説明

～質疑なし～

(2) 平成28年度事業報告及び決算、監査報告について

- ・事業報告、決算報告について事務局より報告 資料1-1、1-2
- ・監査報告について監事の西村委員より報告 資料1-3

～質疑なし～

(3) 釧路市地域公共交通再編実施計画の策定に向けて

釧路市地域公共交通再編実施計画の策定に関する基礎調査業務について

- ・事務局より説明 資料2

(名塚会長)

- ・岸副会長より補足説明をいただけますでしょうか。

(岸副会長)

- ・地域公共交通網形成計画は、方針をこうしましょうというのが趣旨ですが、これから策定しようとしている再編実施計画は、路線再編の実施計画ですので、バス停の位置、ルート、運行時間帯、運行便数を含めて具体的な路線や系統を作っていくということになります。
- ・バスを利用する市民の立場からしてみると、方針についてはあまり否定するところがないかと思いますが、今度は個々の路線の話になってきますので、もしかしたら利便性が向上するかもしれないし、ルートから外れると不便になるかもしれないといったことがでてきます。このため、このルートが必要なかどうかということの一つ一つ丁寧に議論していくことが大事になってきます。地域ごとに市民に対して説明を行い、意見をもらうということも重要です。
- ・そして釧路市とバス事業者の協議も重要となってきます。理想というものがあると思いますが、一方で実現可能かどうかということもあり、そういったことはこの協議会の議論だけでは足りないのです。釧路市とバス事業者とでお互いの状況を分かり合えた中で進めていかなければならないのではないかと思います。ある地方では補助金を確約しないと協議には参加しないといったバス事業者がおり、協議が遅れてしまったという事例がありましたので、釧路市では関係者が連携して進めていただければと思います。
- ・計画を策定することのメリットは、利便性の向上ですとか、市民にもっと関心を持ってもらうなどのほか、国からお金をもらうということもメリットとなるかと思いますが、国の方針は毎年変わることがありますので、情報収集はきちんとしておく必要があるかと思います。例えば、網形成計画を作ったのに、再編実施計画を作らなかった自治体はなぜ作らなかったのか、作る必要がないと思ったのか、作りたかったけれども条件に合わなかったのかということも調べておいていただいて、運輸局とも関係を密にして情報収集していただきたいと思います。

(名塚会長)

- ・計画のイメージが湧いてきたと思いますが、ご質問、ご確認などありますでしょうか。

(平岡委員)

- ・他の地域の事例や国の政策の方向に関して、我々も現状を認識、共有する必要があると思いますので、策定スケジュールに、学習会のようなものを取り入れてもらえないでしょうか。我々も全員が公共交通の専門家ではありませんし、釧路のことは分かっていますが他の地域でどうなっているのか、特に一定程度成果を上げている地域や事業者がいると思いますので、そういった事例を知るといことも計画づくりの上では重要ではないかと思います。この分野のスペシャリストである岸先生に講師をお願いす

るというのも一つであると思いますし、他の地域の方に講師として来ていただくなどして学習会を開催することを検討していただきたいと思います。

- ・ もう一つ、コンサルタントが今年度、日本交通計画協会に変更となったということですが、なぜ変更となったのか、こういった組織でこういった強みがあるのか教えていただけないでしょうか。

(事務局)

- ・ 学習会につきましては、情報収集をしっかり行い、それを皆様にお伝えしご理解いただき、共有しながら進めていく事が重要であると思いますので、まずは情報収集に努めていきたいと考えております。こういった場で行うかということにつきましては、事務局で検討していきたいと考えております。
- ・ コンサルタントにつきましては、主に再編実施計画などの交通計画について、実績と体制がある業者に重点を置き指名を行い、最終的には入札で決定いたしました。

(岸副会長)

- ・ 学習会について、私は専門家なので知らなければいけない立場ですし、行政の方は研究会やシンポジウムなどで学ぶ機会もあり、事業者は実際に運行に関わっているので法律的なことも含めて解っているということと言うと、関係者は知っているけれども皆さんは知らないということもあるので、必要ではないかと思いました。こういった形でということについては、専門部会の中で開催して私が話してもいいですし、事業者が抱えている問題、市が抱えている問題、国の考え方など、関係者が一堂に会して情報共有していくことが大事ではないかと思います。

(平岡委員)

- ・ 学習会について、前向きにご検討いただけるということで、ありがとうございます。専門家の方から話を聞くというのも一つですし、実際に取り組まれた当事者の方から話を聞くというのはとても大事な事であると思いますので、事務局で情報収集・提供することと併せて、是非当事者の方の話を聞く機会を設けていただきたいと思います。

(名塚会長)

- ・ 検討させていただきます。

(4) 釧路市地域公共交通活性化協議会事務局規程の改正について

- ・ 事務局より説明 資料3

～質疑なし～

(5) 再編実施計画の策定に向けた想定スケジュール（案）について

- ・事務局より説明 資料4

～質疑なし～

(名塚会長)

- ・専門部会については、昨年度を基本としつつ、さらに議論を深めていくために必要なメンバーとしたいと考えていますので、会長として岸副会長とも相談しながら人選を進め皆様にご報告したいと考えております。

4. その他

(名塚会長)

- ・くしろバス、阿寒バス、釧路運輸支局より情報提供がありますので、よろしくお願ひします。

(畑毛委員（くしろバス）)

- ・地域公共交通活性化協議会についてですが、管内でも既に白糠町、釧路町、厚岸町で取り組んでいる最中で、白糠町については今週月曜日からコミュニティバス等の第2回目の実証実験運行を開始しており、昨年度は無料でしたが、今年度については有料で進めているところです。厚岸町についても今年度協議会を立ち上げたばかりですが、9月あるいは10月に実証実験をする予定で進めております。出来ましたら、釧路市ももう少しスピード感があると良いのではないかと感じています。
- ・また、今年度、釧路一札幌間を結ぶスターライト釧路号が30周年を迎えるということで、8月5日（土）に観光国際交流センターで大きなイベントを開催いたしますので、是非お立ち寄りいただければと思います。

(須田委員（阿寒バス）)

- ・当社の28年度実績が固まりましたのでご報告いたします。乗合事業全体の乗客数では、前年比109%の増加となっております。また、市内完結路線に限ると前年比107%の増加となっております。収入は全体で4,850万円の増収となっておりますが、都市間バスによる増収がかなりのウェイトを占めているといった実態となっております。

- ・当社では主に郊外路線を中心に運行しておりますが、今後、人口減少が進む中では沿線住民の利用だけでは限界があると考えており、観光客の取り込みが必要であると考えています。昨年、道の駅阿寒丹頂の里がリニューアルオープンし、構内にバス停を移設しました。これに伴ってバスの乗車券と周辺施設入場券をセットにしたセット券の発売を開始しました。実績についてはまだ少ないですが今後PRに力を入れていきたいと考えています。
- ・近年増加している外国人への対応として、国土交通省の訪日外国人旅行者受入環境整備に関する補助金を活用し、ホームページ、バス車内・外の案内表示、バス車内放送の多言語化を行いました。

(山崎委員 (釧路運輸支局))

- ・6月16日(金) 13時より「地域公共交通シンポジウム」が開催されます。北海道において持続可能な交通体系を構築していくために、全国の取組事例を知っていただくという事を目的に各取組を実施している方々を招いて基調講演、事例発表、パネルディスカッションを予定しておりますので、是非とも皆様にご出席いただけますようよろしくお願いいたします。

(名塚会長)

- ・最後に事務局から次回の開催等について説明をお願いします。

(事務局)

- ・次回の協議会は、9月頃の開催を予定しております。近くなりましたら改めてお知らせいたします。

## 5. 閉会